

## 檜葉の家 (2003年)

かなり打合せに時間を使った物件である。クライアントには休日のたびに事務所まで来ていただいた。コンセプトは『The Box』。当事務所にとって初めてのことをたくさん経験させてもらい『感謝』の一言である。サッシュは木製輸入であり新幹線の窓ガラスも使ってみた。暖房は床下温水式放熱器、螺旋階段も設置し、内部壁は一部を除きエコカラット貼、天井・一部壁はシナ合板張り。このエコカラットがかなり室内の湿度を調整してくれている。シナ合板にはクライアントと一緒にオスモの塗装をかけ、疲れ切ったのもよい思い出である。台風がきて一緒に屋根に上りシートを押さえたり、お昼には皆で弁当を食べるなど建築主参加型の発注方式でなければ味あうことができない経験である。



この敷地も北風が強いということで玄関には囲いを設けている。郊外の住宅団地ですでに両脇には家が建っており、隣地への日影の配慮や隣の建物より前へでないことなども考慮に入れている。



左上が模型の写真、すぐ上が現場での実際の建物の写真。対比が面白い。



浴室は廻りから見えないので二階の南側に設けた。大きく張り出したウッドデッキと共に街を見下ろす景観が素晴らしい。建築後は植栽等も加わりとても落ち着いた環境になっている。

日差しは屋根の出で工夫しており冬は奥の和室まで日が入り、夏は南面の掃出し部で止まっている。

Data

所在地：福島県檜葉町内

家族構成：夫婦+子供二人

構造規模：木造枠組壁工法、二階建て

設計監理：吉田敏彦建築設計室